

# 平成20年度実績に対する評価委員会評価表

委員名            A委員

(平成21年12月10日提出)

政策名	豊かな生活のための商・工・観光の振興
-----	--------------------

## 施策の評価

評価項目	施策の方向性		市民ニーズの反映度		適合性		効率性		評価結果 (4項目の 合計点 ×6.25)
施策名	(施策全体として総合計画の基本方針に合致した運営か)		(市民満足度結果等を反映しているか)		(施策を構成する事務事業は妥当か)		(効率的に進められているか)		
商業の振興	4 方針と合致している	4	4 非常に反映している	3	4 非常に効果的である	3	4 非常に効率的である	3	81.3
工業の振興		4		3		3		3	3
観光の振興	3 概ね合致している	4	3 概ね反映している	3	3 概ね効果的である	3	3 効率的である	3	81.3
	2 あまり合致していない		2 あまり反映していない		2 あまり効果的でない		2 あまり効率的でない		
	1 合致していない		1 反映していない		1 効果的でない		1 効率的でない		

施策名	個別の施策に対する意見等
商業の振興	よい市やいわぬま市民夏まつりなど、市民と行政の連携が試みられている。今後が楽しみである。
工業の振興	いわぬまいもの工業見本市が開催されたが、市民がまちにある企業に目を向けさせることができる機会としてもこれから大いに充実して行きたい。岩沼市が空港を持つ立地性から、企業立地推進の取り込みは、国内のみならずグローバルな視点も大切である。
観光の振興	岩沼市には、観光資源が多いが強烈なインパクトには欠けている。難しいが、駅周辺の魅力度を上げることが必要かと思う。

## 政策の評価（施策評価をふまえて）

◇施策の構成や内容は、政策目的を実現するための手段として有効なものだったか。また、各施策の方向性は、政策目的と整合性がとれているか。

新総合計画にあるまちづくりの方向性に沿って、行政と市民が歩んできているという姿が見られる。行政の施策の情報公開も評価される。評価委員会での説明も明快である。

## 総括評価（政策及び施策の推進状況を3段階で判定）

順調

概ね順調

課題あり

協働、情報公開、説明責任など現在の自治体に課せられている課題に積極的に取り組んできている点など、市の取り組みを高く評価したい。今後は市民の自立性を高めるための努力や、岩沼市の魅力を市民全てが誇りに思う意識が熟成して来る事を願う。そのための”連携”に一層努力されたい。

# 平成20年度実績に対する評価委員会評価表

委員名  B委員

(平成21年12月18日提出)

政策名	豊かな生活のための商・工・観光の振興
-----	--------------------

## 施策の評価

評価項目	施策の方向性		市民ニーズの反映度		適合性		効率性		評価結果 (4項目の 合計点 ×6.25)			
	(施策全体として総合計画の基本方針に合致した運営か)		(市民満足度結果等を反映しているか)		(施策を構成する事務事業は妥当か)		(効率的に進められているか)					
商業の振興	4 方針と合致している	3	4 非常に反映している	2	4 非常に効果的である	3	4 非常に効率的である	2	62.5			
工業の振興		3		2		3		2	62.5			
観光の振興		3 概ね合致している		3 概ね反映している		2		3 概ね効果的である	2	3 効率的である	3	62.5
		2 あまり合致していない		2 あまり反映していない				2 あまり効果的でない		2 あまり効率的でない		
	1 合致していない		1 反映していない		1 効果的でない		1 効率的でない					

施策名	個別の施策に対する意見等
商業の振興	よい市の開催など、工夫が感じられます。しかし、市民満足度、指標の達成率の低さが気になります。経済情勢は厳しいですが、市民満足度の偏り(「非常に満足」も「非常に不満」も多い、20年以上居住の住民の満足度が低いなど)から、よりきめ細かなニーズの把握で、改善の可能性があると考えます。
工業の振興	経済情勢の厳しい中で、100%以上の達成率の指標があることはすばらしいと思います。ただ、これまでのような企業誘致の方法での工業の振興は限界のようにも感じられました。これまで達成されなかった起業支援のような工業の振興に力を入れるときかもしれません。
観光の振興	いろいろな取り組みもなされ、指標の達成率も高いにもかかわらず、市民満足度が低いことが気になります。

## 政策の評価 (施策評価をふまえて)

◇施策の構成や内容は、政策目的を実現するための手段として有効なものだったか。また、各施策の方向性は、政策目的と整合性がとれているか。

政策は全体的に、新総合計画との整合性がとれていると思います。ただ、新総合計画の内容をより具体的な目標にした場合になるのか(たとえば、「商業の振興」といった場合の目指すべき商業のありかた)、という点にあいまいさが否めない感があり、有効か否か、整合性がとれているか否か、判断しにくいように思いました。

## 総括評価 (政策及び施策の推進状況を3段階で判定)

順調

概ね順調

課題あり

達成率の高い指標が相当数あり、一定の実績があると思います。しかし、それにもかかわらず市民満足度が低いことは、達成率の低い施策・政策よりもある意味問題かもしれません。よりきめの細かい市民ニーズの把握と周知方法の工夫、経済・社会情勢の変化にあわせた施策の見直しを怠らないことを期待して、課題ありと判断します。

# 平成20年度実績に対する評価委員会評価表

委員名 C委員

(平成21年12月11日提出)

政策名	豊かな生活のための商・工・観光の振興
-----	--------------------

## 施策の評価

評価項目	施策の方向性		市民ニーズの反映度		適合性		効率性		評価結果 (4項目の 合計点 ×6.25)
施策名	(施策全体として総合計画の基本方針に合致した運営か)		(市民満足度結果等を反映しているか)		(施策を構成する事務事業は妥当か)		(効率的に進められているか)		
商業の振興	4 方針と合致している	3	4 非常に反映している	3	4 非常に効果的である	3	4 非常に効果的である	3	75.0
工業の振興		3		3		2		4	75.0
観光の振興	3 概ね合致している	3	3 概ね反映している	2	3 概ね効果的である	3	3 効果的である	4	75.0
	2 あまり合致していない		2 あまり反映していない		2 あまり効果的でない		2 あまり効果的でない		
	1 合致していない		1 反映していない		1 効果的でない		1 効果的でない		

施策名	個別の施策に対する意見等
商業の振興	<p>よい市の定着は商店街活性化への貢献度大である。このような定期的・継続的な事業の開発について、各小売店自身に取り組めるよう研究会や助言を継続し、支援するよう期待したい。</p> <p>地元企業の育成は本政策の優先課題であり、経営の安定化を図る支援は重要である。今後も有効活用の指導助言に努めるよう期待したい。</p> <p>市民まつり、小売市場の活性化、空店舗の活用のいずれも岩沼ブランドに基づいて活性化を図りたい。その為の岩沼ブランドが開発されるよう、行政サイドがプロジェクトのリーダーシップをとり、協力体制を整えて、共に推進することを期待したい。</p>
工業の振興	<p>新たな起業・創業・誘致は社会情勢から見ても容易ではないが、継続的な事業推進が必要である。</p> <p>現在の企業についての出荷業績・フォローアップが目標を達成しており、努力を評価したい。</p> <p>今後は現事業に加えて、創意ある新たな事業が必要と思われる。さらなる市内企業の育成推進を担う事業展開を期待したい。</p>
観光の振興	<p>各指標とも目標を達成しており、順調に推進していると評価できる。</p> <p>しかし、市民の満足度は本政策中でも低く、市民へのPR不足か、関心の方向違いか、検討の必要がある。</p> <p>空港ロビーの活用については、岩沼市に在る空港であることの意識付けも必要であり、今後も工夫して、静→動へのPRを期待したい。(ex 市民まつりの出し物・神社の行事—神輿担ぎ・雅楽等・太鼓・岩沼吹奏楽団・健康音楽会・各学校活動 etc)</p> <p>ほろ酔いウォークラリー等のイベントのさらなる有効活用を期待したい。</p>

## 政策の評価（施策評価をふまえて）

◇施策の構成や内容は、政策目的を実現するための手段として有効なものだったか。また、各施策の方向性は、政策目的と整合性がとれているか。

各施策は有効なものであり、今後のさらなる推進を期待する。  
岩沼の特色は何であるのか、岩沼の売りは何であるのか、いわゆる岩沼ブランドが本政策に大きくかかわっていくものと思われる。  
立ち上げた岩沼ブランド開発プロジェクトが本政策の柱となり、掘りどころとなるプランを提案し、岩沼市民の豊かな生活を推進してくれることを期待したい。

## 総括評価（政策及び施策の推進状況を3段階で判定）

順調

概ね順調

課題あり

各政策とも市民に定着した事業展開を核に、概ね順調な進捗状況と判断できる。  
しかし、政策全般に現状維持の傾向が強く、今後の発展性を考えるとさらなる創意・工夫が必要である。商業・工業・観光の活性化を図る新たな事業展開へのプランを立ちあげ、市民の豊かな生活へ反映させるよう期待したい。

# 平成20年度実績に対する評価委員会評価表

委員名           D委員          

(平成21年12月20日提出)

政策名	豊かな生活のための商・工・観光の振興
-----	--------------------

## 施策の評価

評価項目	施策の方向性		市民ニーズの反映度		適合性		効率性		評価結果 (4項目の 合計点 ×6.25)
	(施策全体として総合計画の基本方針に合致した運営か)		(市民満足度結果等を反映しているか)		(施策を構成する事務事業は妥当か)		(効率的に進められているか)		
施策名									
商業の振興	4 方針と合致している	4	4 非常に反映している	3	4 非常に効果的である	3	4 非常に効率的である	2	75.0
工業の振興		3		2		3		3	68.8
観光の振興	3 概ね合致している	3	3 概ね反映している	3	3 概ね効果的である	2	3 効率的である	2	62.5
	2 あまり合致していない		2 あまり反映していない		2 あまり効果的でない		2 あまり効率的でない		
	1 合致していない		1 反映していない		1 効果的でない		1 効率的でない		

施策名	個別の施策に対する意見等
商業の振興	<p>中心市街地と位置づけされている商店街には、空き店舗が多く見られ、経営の厳しさが伺われる。人が集まる環境をつくり、高齢化に伴ない身近な場所での買い物できれば、おのずと人が集まり、活性化に繋がるものとする。交通体系をも考慮し抜本的な発想を期待する。主な課題として ①よいち等街中でのイベント ②駅前整備事業に合わせ、駅前商店街形成の推進 ③公設市場の活性化 ④中心市街地の歩道整備と交通体系の考案実施 ⑤竹駒神社と一体となった商店街の形成 ⑥新図書館と商店街のアクセス整備</p> <p>現在行われている施策の整合性は現状どおりでよしとするが、上記課題を考慮しながら、踏み込むことが必要と思われる。</p>
工業の振興	<p>岩沼には、昭和30年後半の仙台湾新産業都市指定に伴い、大手企業が進出、以来臨空工業団地には数多くの企業が張り付き、地元企業を含め工業都市として現在も発展している。特に製造産業にかかせない金属材料は臨空工業団地から東北各地に送られ、鋼材供給の基地となっている。そのことが岩沼市の財源に大きく反映されている。企業は、自らの力と知恵を出し経営として鋭意努力を重ね今日に至っているが、外に目を向ければ、周辺環境としての満足いく状況でないと推測される。企業と行政の整合性を論ずる機会を持つのも一考と考える。空港の利便性を全面的に打ち出しながら積極的な企業誘致をしながら、新たな土地利用をも視野にいたした施策が必要。</p>
観光の振興	<p>竹駒神社を中心に市内に点在する観光資源は数多くあり、近年は素朴さを求める観光を望む方向にある。デスティネーションキャンペーンの実績も含め、積極的な展開をすべきである。岩沼ブランドの開発は、急務と思われる。商店街の景観は、観光の一要因になることから商業の振興にあわせ努力すべきである。</p> <p>①観光ルートを確認し案内板の設置 ②歴史ある貞山運河の積極的PRと合わせ歴史説明のある案内板の設置</p>

## 政策の評価（施策評価をふまえて）

◇施策の構成や内容は、政策目的を実現するための手段として有効なものだったか。また、各施策の方向性は、政策目的と整合性がとれているか。

商・工・観が一体なって街づくりができることから、各施策を実現させることで市民満足度も向上していくものである。意見等にも延べたとおり、具体的な表現がほしいと感じたが政策目的との整合性は取れているものと思われる。

## 総括評価（政策及び施策の推進状況を3段階で判定）

順調

概ね順調

課題あり

商業、工業、観光の夫々の施策は、市財政に大きく係わり大変重要なことである。推進すべく各項目については、目的に向け成果を上げつつあることから、概ね順調としたが、市民満足度の総括表に見られるように、満足度、重要度は意外と低い。大変難しい問題もあり、係わる市民の数もあり一概に低さを認めることはできないが、市民の認識を求めるならば、見える展開、配慮が必要ではないかと思われる。重要性を訴えながら努力することが、町の発展に繋がっていき、そのようにあるべきである。

# 平成20年度実績に対する評価委員会評価表

委員名  E委員

(平成21年12月15日提出)

政策名	豊かな生活のための商・工・観光の振興
-----	--------------------

## 施策の評価

評価項目	施策の方向性		市民ニーズの反映度		適合性		効率性		評価結果 (4項目の 合計点 ×6.25)
施策名	(施策全体として総合計画の基本方針に合致した運営か)		(市民満足度結果等を反映しているか)		(施策を構成する事務事業は妥当か)		(効率的に進められているか)		
商業の振興	4 方針と合致している	3	4 非常に反映している	3	4 非常に効果的である	3	4 非常に効率的である	2	68.8
工業の振興		4		3		3		4	
観光の振興	3 概ね合致している	3	3 概ね反映している	2	3 概ね効果的である	3	3 効率的である	2	62.5
	2 あまり合致していない		2 あまり反映していない		2 あまり効果的でない		2 あまり効率的でない		
	1 合致していない		1 反映していない		1 効果的でない		1 効率的でない		

施策名	個別の施策に対する意見等
商業の振興	商業の振興は、経営者(事業主)のみならず、地域住民にとっても切実な願いである。とりわけ高齢者にとっては、中心地市街地の衰退・空洞化は、深刻な問題である。目的達成のための諸事業は、それぞれに成果を上げていると判断はできるものの、決して満足できる状況には至っていない。総合評価の低い事業について、方向性として現状維持では、これからの発展が望めない。むしろ強化することにより、一層の活性化を図る必要があるのではなかろうか。
工業の振興	厳しい経済状況が続くなか、企業の経営継続と安定化を図ることは勿論のことではあるが、地元雇用の拡大のためにも、更なる企業誘致が期待されている。今後とも強化の方向で、積極的な展開を期待する。
観光の振興	「岩沼の名所と言えば竹駒神社しか思い浮かばない」とか「特産品を県内外に自信をもって言えるものがないのでは」と時に聞く。市民満足度調査の結果もそれを物語っているのではなかろうか。観光宣伝事業の強化のみならず、観光物産協会がこれまで以上にその責任を果たすよう、適切な働きかけや指導が必要であろう。

## 政策の評価 (施策評価をふまえて)

◇施策の構成や内容は、政策目的を実現するための手段として有効なものだったか。また、各施策の方向性は、政策目的と整合性がとれているか。

<p>(1) 施策の構成や内容は、政策目的を実現するための手段として有効なものだったか。 「豊かな生活のための商・工・観光の振興」という目標達成のために掲げたそれぞれの施策の構成や内容は、目的を達成するための手段として有効であると判断する。</p> <p>(2) 各施策の方向性は、政策目的と整合性がとれているか。 各施策に対する改善の方向は適切である。また、それぞれとも整合性がとれていると判断する。</p>
---

総括評価（政策及び施策の推進状況を3段階で判定）

順調	概ね順調	課題あり
----	------	------

商業・工業・観光の振興は、市としては大きな課題である。市民の満足度調査の結果はそれを如実に物語っている。また、「岩沼市新総合計画」第5章第2節に示されている「まちづくり基本方針」の具現化は、市民にとって切なる願いでもある。現在その実現を目指し取り組まれている各種施策は、着実に実行されているものの、商業や観光部門の達成状況が芳しくないのは、取り組み方に問題があるのでは、と言わざるを得ない。政策目標を実現するための手段も有効であり、かつ各種施策に対する方向性は政策目的と整合性があるだけに、取り組み方に課題がありそうな気がする。掲げた施策が、より充実した結果をもたらすよう、一層の工夫・努力が期待される。

# 平成20年度実績に対する評価委員会評価表

委員名          F 委員

(平成21年12月11日提出)

政策名	豊かな生活のための商・工・観光の振興
-----	--------------------

## 施策の評価

評価項目	施策の方向性		市民ニーズの反映度		適合性		効率性		評価結果 (4項目の 合計点 ×6.25)
	(施策全体として総合計画の基本方針に合致した運営か)		(市民満足度結果等を反映しているか)		(施策を構成する事務事業は妥当か)		(効率的に進められているか)		
商業の振興	4 方針と合致している	2	4 非常に反映している	2	4 非常に効果的である	2	4 非常に効率的である	2	50.0
工業の振興		3		2		3		3	68.8
観光の振興	3 概ね合致している	2	3 概ね反映している	2	3 概ね効果的である	2	3 効率的である	2	50.0
	2 あまり合致していない		2 あまり反映していない		2 あまり効果的でない		2 あまり効率的でない		
	1 合致していない		1 反映していない		1 効果的でない		1 効率的でない		

施策名	個別の施策に対する意見等
商業の振興	たとえば中心市街地活性化と言っても、なぜその地区が中心地区なのかという疑問もあります。他市を見ると、商業の中心が郊外に移っているところもあります。商業域の郊外化ということについても、行政としての見解を出す事で市民ニーズとの関係も明確になる。活性化の検討会などは的を絞って行動につなげて行く必要がある。公設市場なども当初の目的と現在の目的では当然違いがあると思うが、目的と執行の変遷を明確にすることが今後の対応につながると判断します。
工業の振興	岩沼市は矢野目工業団地があり、市内にも地元の企業が創業しております。この既存の企業の支援を最優先に考えるべきと判断します。将来のために新規に企業を誘致する事は必要ですが、今は優先順位として既存企業の健全化、利益アップに地域も行政も一丸となって取り組むべきと判断します。
観光の振興	観光活性化は一部業者への利益還元という見方も出来るので、基本的には民間主体で行うべきで、文化と観光が結びついたものについては文化伝承という観点から行政が支援するという方向が良いと判断します。市の名物については既存の名物(最中や煎餅)は市の文化とも大いに関係が深いので、それを積極的にPRすべきと判断します。

## 政策の評価（施策評価をふまえて）

◇施策の構成や内容は、政策目的を実現するための手段として有効なものだったか。また、各施策の方向性は、政策目的と整合性がとれているか。

岩沼市にとっての商・工・観光の位置づけ優先度合いが不明確です。即成果の現れる事業ではないので、行政と市民との評価に隔たりのあることは致し方がない面もあります。しかし、これだけ変化の激しい時期に過去からの延長線で事業が進められていると、変化が常に先行して何時まで経っても事業は後手になってしまう危険があります。商・工・観光に対する行政の考え方そのものを見直す時期に来ているのではないかと思います。執行した事に対して結果がどうであれ、今後如何に活かすかという議論が必要です。目的が明確でない事が物事を単発にしていると判断します。

## 総括評価（政策及び施策の推進状況を3段階で判定）

順調

概ね順調

課題あり

商工観光はつながり深い事業です。しかし地域環境が激変する中で、3事業の個々の具体的な目的が明確に伝わってきませんので、事業の進捗状況を明確に評価することは難しいです。執行する側としても、過去からの受け継ぎ事項が現状に適合しているのかどうかを判断しているかどうかは問題です。近隣の地区には大きな商業施設が出来、アクセス鉄道まで出来る地域の変貌を岩沼市の商工観光という点からどのように考えているのか、環境が変化し市民意識も変化している中で、事業が過去からの継続という観点から継続されていると事業の有効活用という点でギャップが広がるばかりと判断します。今必要なのは、各事業の目的を明確にして施行評価を確実に行うことだと判断します。仙台市に職場を持つ方も多く、仙台市のベッドタウンとしての発展も選択肢の一つと判断します。

# 平成20年度実績に対する評価委員会評価表

委員名          G委員

(平成21年12月20日提出)

政策名	豊かな生活のための商・工・観光の振興
-----	--------------------

## 施策の評価

評価項目	施策の方向性		市民ニーズの反映度		適合性		効率性		評価結果 (4項目の 合計点 ×6.25)	
施策名	(施策全体として総合計画の基本方針に合致した運営か)		(市民満足度結果等を反映しているか)		(施策を構成する事務事業は妥当か)		(効率的に進められているか)			
商業の振興	4 方針と合致している	4	4 非常に反映している	3	4 非常に効果的である	3	4 非常に効率的である	3	81.3	
工業の振興		4		3		3		3	3	81.3
観光の振興		3 概ね合致している		4		3 概ね反映している		3	3 概ね効果的である	3
	2 あまり合致していない		2 あまり反映していない		2 あまり効果的でない		2 あまり効率的でない			
	1 合致していない		1 反映していない		1 効果的でない		1 効率的でない			

施策名	個別の施策に対する意見等
商業の振興	<p>・ 当施策の最終的な目標は、岩沼商圏の小売業販売額である。それ以外の成果指標は小売業販売額の目標を達成するための手段としての成果目標である。このような観点でみると小売業の販売額は平成19年度の実績よりダウンしている。これは何の要因による影響だったのか分析して今後の施策に反映する必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>・ また、個々の成果指標についてみると一部を除いて増加傾向にあるが、市民夏祭り参加数については、天候に左右されるのは当たり前なので、目標設定に当たっては考慮した方がいいのではないのでしょうか。</p> <p>・ 商店街の活性化に取り組むためには、市と商業者(商工会)と市民が一体となって取り組まないと成果が挙がりにくいのではないのでしょうか。今後の方向性には”強化”となっているので、このような観点に立った進め方をしたらいかがでしょうか。</p>
工業の振興	<p>・ 当施策の最終的な目標は企業立地件数である(製品出荷額としては市としてコントロールできないので)。この件数が増加すれば出荷額(売上高)が向上し、税収が向上し、雇用面での改善につながって行くことになる。全体の方向性として”強化”とあるので、状況は厳しいですが人的コスト(人員)を増やしてでも取り組まなければならない施策ではないのでしょうか。</p>

観光の振興

- ・最近市内を歩いていると、新たな観光スポット・施設などの案内板設置が目につくようになった。市外からの訪問者・観光客にとっては、便利になったことと思う。また、さまざまなイベントに取り組むことにより観光客も増加しているものと思われます。
- ・この施策の最終目標は観光客入り込み数である。但し、平成20年度の実績2,275千人の9割ほどは竹駒稻荷と金蛇水神社の参詣者と思われる。これは悠久の時間が残してくれた至福ですが、これをベースとしている工夫をしてさらに観光客の入り込み数を増やしていかなければならないでしょう。
- ・観光ルートの整備に当たっては、岩沼市の領域は東西に長く、観光スポットが広範囲にわたっているので、現在のiバス利用では不便をきたすことでしょう。できれば仙台のループバスのように観光スポット巡りバスのような工夫を考慮した方がいいのではないのでしょうか。

政策の評価（施策評価をふまえて）

◇施策の構成や内容は、政策目的を実現するための手段として有効なものだったか。また、各施策の方向性は、政策目的と整合性がとれているか。

- ・商業の振興については、政策目的を実現するための手段としては有効であると思われる。但し、より充実した効果を挙げるためには、市・商業者(商工会)・市民が一体となった取り組みが必要ではないでしょうか。
- ・工業の振興について政策目的を実現する手段としては有効であると思われる。但し、誘致する(できた)企業の規模を考慮して企業立地企業の指標が妥当かどうか年度ごとに見直していかなければならないのではないのでしょうか。
- ・観光の振興については政策目的を実現する手段としては有効であると思われる。但し、個々のイベントの実施にあたっては、観光客入り込み数の目標と実績及びニーズを把握することにより、新たな課題が見え、より高い実績が得られるのではないのでしょうか。

総括評価（政策及び施策の推進状況を3段階で判定）

順調	概ね順調	課題あり
----	------	------

- ・施策の進捗状況は目標の達成度を見る限りでは、順調に進んでいるものと思われる。